

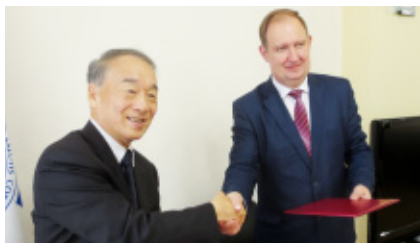
極東国立総合医科大学(ロシア・ハバロフスク)短期研修実施、 大学間交流協定締結

7月25日(月)から8月5日(金)の約2週間、極東国立総合医科大学(ロシア・ハバロフスク)よりエリザヴェータ スホペイさんが来日し、歯学部にて短期研修を行いました。



古市教授より修書の授与:中央エリザヴェータさん、古市教授

同大学と本学歯学部は今年4月に学術協定を締結し、今回は初となる学生研修の受け入れでした。プログラムは、フランス、スウェーデン、中国、台湾からの短期留学生等と合同で行い、国際色



左:浅香学長 右:ジメレネツキー学長

豊かな研修となりました。

9月19日(月)、本学の浅香学長と歯学部の佐藤講師が極東国立総合医科大学を訪問し、大学間交流協定を締結。調印式には、同大学からジメレネツキー学長、タキシノフ副学長、ユルケヴィチ歯学部長をはじめ多数の関係者が出席し、浅香学長とジメレネツキー学長が協定書にそれぞれ署名を行い、固い握手を交わしました。

今後、歯学部のみならず、リハビリテーション科学部をはじめとする全学的な交流が期待されます。

また、今回の協定についての記事が、共同通信社より全国に配信されました。

The 1st Symposium on Personalized Oral Health Science を開催

「The 1st Symposium on Personalized Oral Health Science」を、8月23日(火)札幌サテライトキャンパスで開催しました。

本シンポジウムは、8月24日(水)から26日(金)の間、札幌コンベンションセンターで開かれた第58回歯科基礎医学会学術大会(大会長田隈泰信 教授)の連携シンポジウムとして、台

北医学大学(大学間提携校)、同済大学、インドネシア大学、ストラスプール大学、中山大學、マヒドン大学、イエテボリ大学、極東国立総合医科大学(以上、歯学部提携校)、ユング・シュテリング病院(歯学部提携機関)、カトマンズ大学、シャヒドタジュディンアーメド大学から19名の教員を招いて開催しました。

当日は、本学教員52名、大学院生30名、短期留学生7名を含め110名が参加し、大会長斎藤隆史歯学部長による開会あいさつの後、各大学の特色ある研究、臨床、教育についての発表と熱いディスカッションが展開され、大学間の今後の連携の橋渡しとなる議論の場となりました。午後6時からは、京王プラザホテル札幌において、短期留学生(台北医学大学2名、中山大學4名)による研修報告会を開催し、その後の懇親会で各大学教員との懇親を深めました。懇親会は三味線・日本舞踊のアトラクションもあり大いに盛り上がりしました。

本シンポジウムをきっかけに、本学と海外提携大学・機関との学術交流・学生交流が今後ますます盛んになることが期待されます。



タイ・バンコク総務省の医療部門一行が本学看護福祉学部を訪問

8月5日(金)に、タイ・バンコク総務省医療部門のDr.Surinを団長とした医療チーム37名が本学看護福祉学部を訪問しました。

平学部長によるあいさつの後、それぞれの学科の教員による、看護と福祉の教育システム、および地域包括ケアシステムと本学の教育の特徴などについて説明がありました。その後、実習室を見学するなど、当初の予定時間を大幅に超えて活発な質疑応答がなされました。



左:Dr. Surin
右:平学部長



実習室見学



各教員による看護・福祉の教育システム等の説明



タイ訪問団との集合写真